

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	・保護者のニーズ聞き取り面談を行い、フォーマル、インフォーマルアセスメントをもとに子どもの状況に合った目標設定で児童発達支援計画の作成に努めている。	・アセスメントをより細やかに行うために、評価法を学ぶ機会を増やしている。 ・アセスメントのための半数通園日を設けた。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	・PEPを実施。	・今後研修を重ね、VINELANDや感覚プロフィールをアセスメントツールとして活用していきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	・ガイドラインを基に児童発達支援計画様式を変更 ・内容もガイドラインに沿った項目を選定し、児童発達支援計画を作成している。	・適切な児童発達支援計画作成のために、個別支援計画会議を定期的実施する ・地域支援に関しては今後の課題として検討実施する。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	・スモールステップでの目標作成 ・日々の記録にアセスメントも入れ込むように工夫	・支援計画の立案に際してアセスメントを実施し、適切な目標の作成を行う。 ・モニタリングを確実に実施する(期のまとめの作成や中間面談の実施)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	・通園会議はもとより、クラス別会議の時間も設け、チームでの立案を心がけている。	・会議や打ち合わせの効率化を図りながら、チームワークを引き続き維持する。 ・体制上、一人で立案した時期もあった。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	・インフォーマルなアセスメントを継続し、月間カリキュラムの作成時に課題選びにつなげている。	・子どもの発達の状況に合わせて、課題を変化させていく努力を続ける。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○	・1日の活動の中に、個別活動と小集団活動を必ず入れるようにしている。 ・児童発達支援計画にも反映するように工夫する。	・今後も子どもに合わせた活動の工夫を重ねていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	・打ち合わせ後、その日の各子どもの動き、職員の動きを一覧表にしてクラス内に掲示し、連携した支援の充実を図っている。	・継続して確実にを行う。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	・その日の出来事から、次の支援の手立てを考えることまで、職員間での情報共有を何より大事にしている。	・園内カンファレンスを実施し、クラスを超えて課題の共有化を図っている。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	・再度書式を変更。個別支援計画とリンク化し、目標を意識できるよう工夫を行った。	・効率の良い記録様式について工夫を継続していく。	